| 学校番号 | 218 |
|---|---|

# 平成 31 年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅰ」　（教育図書出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ペン字のこころ（日本書写教育研究会） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校中学校の書写で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによって異なる表現ができることを学びます。
・楷書・行書から仮名に至るまで様々な書体を体験し、毛筆を使いこなすことによって自分にしかできない作品を制作する喜びを味わってもらいます。
・身の回りに飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通じて、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な諸表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 書写と書道 | ・書写と書道 | ○ | | ○ | | a:書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:書写での基礎を踏まえ表現を工夫している。<br>c:姿勢や用筆法の基本を身につけ表現している。<br>d:書写と書道の類似点・相違点について理解し、様々な書の良さを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート |
| | 楷書の学習 | ・唐の四大家の古典臨書 | ○ | | ○ | | a:楷書の美とその表現技法に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。<br>b:基本的な用筆法を理解し表現を工夫している。<br>c:毛筆の弾力を利用した運筆方を身につけ表している。<br>d:唐の四大家それぞれの美しさを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 |
| 2学期 | 行書の学習 | ・古典の臨書、作品制作 | ○ | | ○ | | a: 行書の美とその表現技法に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。<br>b: 行書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。<br>c:行書の基本的な点画や線質の表し方と用筆運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ表している<br>d:行書の持つ美しさを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 淡墨作品・漢字仮名交じり書 | ・淡墨による漢字作品<br>・漢字仮名交じり書作品制作<br>　相互鑑賞会 | ○ | ○ | | ○ | a:墨色や選定した言葉について関心を持ち、積極的に表現を高めようとしている。<br>b:効果的に表現するために、墨色や配置、字形に自らの感性を働かせ、表現を工夫している。<br>c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけている。<br>d:互いの作品を鑑賞しその良さを味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 |
| 3学期 | 仮名・ペン字 | ・仮名作品制作<br>　相互鑑賞会<br>・ペン字 | ○ | ○ | | ○ | a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。<br>b:仮名の美しさを感じ取り感性を働かせながら連綿や散らし書きを工夫して表現している。<br>c:基本的な用筆法を身につけて表現している。<br>d:仮名作品の美しさを理解し味わっている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>作品提出 |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構創意工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。